

2024年耳鼻咽喉科月間 申請書

作成日 2024年 3月 23日

地方部会名	北海道地方部会		
代表者名	本間明宏		
担当者名	高野賢一	担当者e-mail	kent@sapmed.ac.jp
活動のタイトル	加齢性難聴 ポスター・リーフレットによる啓発活動		
アピールポイント	高齢者が多く集まる道内主要都市の行政関連施設、内科・整形外科医院に広報ポスター・リーフレットを配布し、耳鼻咽喉科受診勧奨につなげている		
表彰の対象となる取り組みと波及効果を記述して下さい。図表を添付頂いてもかまいません。	<div data-bbox="402 881 1663 1047"> <p>特に加齢性難聴に関しての啓発と耳鼻咽喉科受診につなげるため、行政担当者と相談し、道内主要都市(札幌、旭川、函館、帯広、釧路)の市区役所関連施設等の高齢者が多く集まる施設、ならびに比較的患者数が多い道内の内科・整形外科医院/病院、合計160箇所に添付のポスターとリーフレットを配布し、設置してもらっている。実際にリーフレットを手に耳鼻咽喉科を受診する患者さんが増えつつある。</p> </div> <div data-bbox="402 1047 1663 1790"> <p>The collage contains several key pieces of information:</p> <ul style="list-style-type: none"> Poster: Titled '加齢性難聴 聞こえづらいなと感じたら...' (Age-related hearing loss, if you find it hard to hear...). It features a close-up of an ear and text emphasizing that hearing loss is common and can be managed. Checklist: A '聞こえのチェックシート' (Hearing Checklist) with 10 items to help individuals assess their hearing health. Leaflet: A detailed leaflet titled '加齢性難聴とは' (What is age-related hearing loss?). It explains the condition, its risks to health and safety, and provides information on treatment options like hearing aids and cochlear implants. It also includes a '聞こえのチェックシート' and a list of hearing aid types. </div> <div data-bbox="402 1790 1663 1863"> <p>↑ ポスター</p> <p>↑ リーフレット(補聴器相談医リスト差し挟)</p> </div>		

2024年耳鼻咽喉科月間 申請書

作成日 2024年 3 月 23 日

地方部会名	北海道地方部会		
代表者名	本間明宏		
担当者名	高野賢一	担当者e-mail	kent@sapmed.ac.jp
活動のタイトル	エスコンフィールドでの人工内耳装用児たちのYMCAダンス参加イベント		
アピールポイント	難聴をもつ子どもたちが貴重な体験を積めたと同時に、人工内耳装用児たちが躍動する姿を通して耳鼻咽喉科が担う人工内耳医療の市民啓発につながった		
表彰の対象となる取り組みと波及効果を記述して下さい。☒表を添付頂いてもかまいません。	<p>プロ野球の試合インニングの合間に行われる「YMCAダンス」に、北海道内の人工内耳装用児30人が参加するイベントを企画し、3月17日(日)エスコンフィールドでの「日本ハムファイターズ対読売ジャイアンツ戦」で実施しました。 ファイターズガールズにダンスレッスンを受け、5回裏終了時に、観客2万人を前にフィールドで元気よく踊ることができました。 難聴をもつ子どもたちと保護者にとって貴重な体験となったと同時に、人工内耳によって音楽やダンスを楽しむ姿を通し、また新聞等の報道を通して、一般市民に向けて人工内耳についての啓発につなげることができました。</p> 		

2024年耳鼻咽喉科月間 申請書

作成日2024年 3 月 29 日

地方部会名	北海道地方部会		
代表者名	本間明宏		
担当者名	高野賢一	担当者e-mail	kent@sapmed.ac.jp
活動のタイトル	「聞いておきたい認知症と難聴のはなし」 市民・医療者向け公開講座		
アピールポイント	情報が届きにくい地方都市において、市民および医療関係者に難聴に関する啓発を行い、地元における耳鼻咽喉科受診増につながった		
	<p>10月19日に帯広市、3月28日に釧路市において、一般市民を対象とした公開講座「知っておきたい認知症と聞こえのはなし」、医療関係者には難聴に関する知識・耳鼻咽喉科への紹介を促す講演を開催した。会場には人工内耳メーカー、補聴器販売店のブースも出展し、実機に触れたり、担当者に質問が寄せられた。合わせて市民400名超、医療関係者約50名に難聴に関する情報や耳鼻咽喉科受診勧奨の啓発を行えた。開催後は地元医院・病院で受診者が増え、講演を機に受診し、人工内耳手術に至った方、予定している方が現時点で5名いる。</p>		
表彰の対象となる取り組みと波及効果を記述して下さい。図表を添付頂いてもかまいません。	  <p>↑ 補聴器・人工内耳展示ブース</p>		

2024年耳鼻咽喉科月間 申請書

作成日 2024年 3 月 23 日

地方部会名	東京都地方部会・北海道地方部会		
代表者名	加我君孝・本間明宏		
担当者名	高野賢一 南修司郎	担当者e-mail	kent@sapmed.ac.jp shujirominami@me.com
活動のタイトル	東京医療センター人工内耳センター 耳の日イベント		
アピールポイント	難聴当事者に防災意識を高めてもらうことにつながった		
	<p>3月3日に、東京医療センターにおいて、東京都×北海道地方部会の合同イベントとして、100名を超える難聴当事者と関係者を対象に講演会を開催した。 人工内耳装用者による最新プロセッサの聞こえ方や違いなどの講演、難聴当事者に災害に対する意識を高めてもらう防災心得の講演を行った。 目黒区の防災担当者、災害医療の専門家も同席し、参加者による活発な質疑応答や議論が交わされ、難聴者の防災に関する課題や知識、対応策などを共有することができた。</p>		
表彰の対象となる取り組みと波及効果を記述して下さい。図表を添付頂いてもかまいません。	 		